

令和7年度 第8回 広報公聴委員会 会議録

|                |  |
|----------------|--|
| 開催日            | 令和8年2月13日(金)   |
| 会議時間           | 午前10時2分 ~ 午前10時50分   |
| 開催場所           | 佐倉市議会 議会棟2階 第三委員会室   |
| 出席委員等          | [委員長] 密本 成章 [副委員長] 長谷川 泰弘<br>[委員] 高橋 とみお、宇田 みおこ、<br>齋藤 明美、伊藤 とし子、山本 英司 |
| 欠席委員等          | [委員] 齋藤 寛之、木崎 俊行、爲田 浩  |
| 委員外議員          | 平野 裕子  |
| 説明のため出席した者の職氏名 | なし   |
| 議会事務局          | [次長] 鈴木 康二<br>[書記] 里吉 奏子、島津 克也、大畑 まり                                   |
| 協議事項           | (1) 令和7年度の意見交換会について<br>(2) その他(マチイロについて)                               |

【決定事項】

(1) 意見交換会報告書

- 令和7年度意見交換会報告書は案のとおりとし、議長へ報告する。
- 議長報告のうえは、実施計画に基づき、市議会ホームページにおいて公表する。
- 市立図書館及び市政資料室への配架、執行部にも情報提供する。

(2) その他(マチイロについて)

- 自治体情報配信アプリ「マチイロ」の掲載件数が1件となる仕様変更を踏まえ、議会だよりにバックナンバー案内を掲載する方向で進める。

【主な意見等】

(1) 意見交換会報告書、第二部の記録について

- 各グループで作成した整文前の文書も共有し、その内容を確認した上で最終的な報告書をまとめる手順が望ましい。
- 各グループの担当が確認すればよい。提出された内容は整理されており、報告書の内容そのものには大きな支障は見られない。
- 報告書の取りまとめは、従来どおりの方法で十分であり、改めて全体で精査し直す必要はない。

(2) 高校生意見交換会の評価について

- 高校生が議場を体験し、議員と直接意見交換を行えたことは、主権者教育として有意義である。
- 時間配分や進行方法、事前説明の在り方など、運営面については改善の余地がある。

### (3) 意見交換会の継続について

- 高校生の意見を聞く取組は重要である一方、来年度以降の実施については、形骸化や高校側の負担、学校間の温度差に配慮し、慎重に検討する必要がある。

### (4) 対象・回数の在り方について

- 高校生に限らず、農業者、商工業者など、他の層の意見も議会として受け止める必要がある。
- 意見交換会・議会報告会については、年1回に限定せず、複数回実施することも含めて検討する必要がある。
- 回数や対象の在り方については、各会派に持ち帰って検討し、次年度以降の広報広聴委員会で協議することが適当である。

### (5) 市民・団体への周知について

- 市民団体等との意見交換の機会を広げるため、議会だより等を活用し、意見交換を希望する団体を募る取組が考えられる。

### (6) 議会体験の方法について

- 高校生意見交換会において、「議決」や「意見書提出」を模した運営は、実際の議会運用との違いから誤解を招くおそれがある。
- 可決後に市長が受け取る形式については、実施されない場合・実施された場合のいずれにおいても、議会の役割に関する誤解を生じさせる可能性がある。
- 本来の議会ではないことを前提として説明した上であれば、採決等を含む議場体験は学びとして有意義である。
- 若者議会のように、一定期間をかけて検討し、可決後に事業化につなげる仕組みとする方法も検討に値する。

### 【次回の開催について】

令和8年3月4日（水）本会議終了後

以上のとおり会議要録を作成し、ここに署名する。

委員長 密本 成章